

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 7 日

事業名称		河川管理費〔河川管理事業〕										
予算科目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	4	河川管理費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	土木課 管理 係 課長名 寺島 由紀夫											
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 5		
【施策名】 緑の保全・創出									総合計画書(ページ)	91		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・河川(前川及び奈良橋川の上流の一部)					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ・管理している河川区域の面積						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・除草や清掃を行いきれいに整備された状態を保つ。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・河川除草面積 ・河川清掃面積						
	③ そのために何をしましたか。 ①河川除草委託 ②前川清掃委託					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①(1)前川除草(8月):2,100㎡ (2)前川・奈良橋川除草(12月):2,100㎡ ②前川清掃(2月):土砂搬出量6.02㎡						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	㎡	2,100	2,100	2,100						
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目標	②の目標値	%	100.0	100	100						
目標値設定の考え方 除草・清掃対象としている河川区域の全てをもれなく管理する。												
3 経費	事業費(実績)		円	1,594,424	1,633,132	1,611,840		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,594,424	1,633,132	1,611,840						
		特定財源	円									
	(うち受益者負担)		円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)		円	2,475,900	2,473,200	2,493,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	4,070,324	4,106,332	4,104,840							
4 環境変化等	(1) 開始年度		- 年度									
	(2) 環境の変化 平均気温が高くなっていることが原因かは定かではないが、河川区域内の雑草の成長時期が早まっている。またゲリラ豪雨が多発しているため河川に流入する土砂量が増えている。											

事業名称	河川管理費〔河川管理事業〕			
担当部署・課長名	土木課	課	管理	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内の雑草が成長し、宅地内まで伸びてきている。 ・前川の水路内に大きな土砂が詰まっており水の流れを堰き止めている。 ・河川区域内にごみが捨てられており汚い。 河川がきれいに整備されていないとごみのポイ捨ての温床となる。日頃より整備された状態を保つことが必要。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）			
	前川の水路について、流域の多くで土砂が溜まっており、水の流れが悪いため対応して欲しいと要望があった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	前川の清掃は毎年業者に現場確認を含め委託しており、特に対応が必要だと思われる箇所の清掃を依頼していたが、31年度は苦情があった箇所を中心に市職員で堆積量を記録し、具体的な清掃箇所を直接指示した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
水路の線形や勾配によりどうしても土砂が溜まりやすい箇所があるため、そういった箇所への大雨時や定期的な見回りを強化していく必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 緑の保全・創出 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 事業費の拡大を抑制すべく、委託の中では限られた予算内で最も効率（コストパフォーマンス）の良い対応を行う必要がある。そのため、担当者自らが日頃より河川の状態を確認していく必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
大雨・台風後など河川の状態を確認する必要がある時期には、河川見回りのための時間を設ける必要がある。そのため他業務との時間的・人力的な調整が必要。				